

防災訓練を計画するに当たって

1 訓練の目的・目標設定

- ・防災訓練は、災害時に住民一人ひとりが適切な避難行動を取ることができるようになるために行うものです。
- ・訓練を実施するに当たっては、訓練に参加する住民から何を学んでもらいたいのか（地域の災害リスク、災害時の一時避難場所の確認、避難時の持出品…等）を決めましょう。
- ・地域の防災士や消防機関など、専門的な知識や技術を持つ人に訓練内容についてアドバイスを求めることも一つの方法です。

2 防災訓練の実施メニュー（例）

① ハザードマップから見る地域の災害リスク確認

市が公表している各種ハザードマップ（洪水・津波、土砂災害、ため池）を参考にしながら、地域の危険個所や防災上の問題点を確認し、話し合っって対応策を事前に決めます。

② 避難訓練

自宅から地域で決められている一時避難場所まで避難して見ることにより、避難にどのくらい時間がかかるのか、また、避難の際に使う経路で危険な個所がないかを確認します。

③ 現地本部・一時避難場所設営訓練

地域の防災活動の拠点として、町内会館等に現地本部や一時避難場所を開設する訓練を行い、会場のレイアウトや開設に必要な物品等を確認します。

④ 防災まち歩きマップづくり

地域を実際に歩いてまわり、災害が起きた時に危険な場所（地震によって倒壊する可能性のあるブロック塀や古い家屋、大雨の時に溢水する可能性のある用水路の位置など）を確認して、地域の地図へ落とし込み、危険な場所を地域で共有します。

⑤ 防災資機材の取扱訓練

地域で用意している防災資機材（発電機や投光器、救助用品など）を実際に使うことで、正しい使い方を学びます。

裏面に続く

3 参考資料

- ・自主防災組織訓練マニュアル（全町内会）や、自主防災組織初動対応マニュアル（全戸）を配布していますので、防災訓練の内容を考える際の参考資料として、ご活用ください。



上越市自主防災組織
訓練マニュアル



上越市自主防災組織
初動対応マニュアル

※上記マニュアルは市ホームページにも掲載しています。

上越市ホームページ>検索コーナー 組織で探す>市民安全課（原子力防災対策室）>地域防災に関すること >自主防災活動（日常の活動、訓練マニュアル、応急活動等）

4 訓練のポイントなど

○自主防災組織や町内会が行う「初期消火」について

- ・自主防災組織や町内会が行う初期消火活動は、消防署への火災発生通報や住民の避難誘導、消火器やバケツを使った初期の消火作業などです。
- ・地域で行う初期消火活動は、火災の延焼を防ぐことが目的です。一般の方が消火栓を使用することは大変危険なので、消防署や消防団に任せましょう。

○町内会長や役員がいなくても対応できるように

- ・災害発生時に、必ず町内会長や役員の方が地域にいるとは限りません。町内会長等が不在の場合を想定した初動対応も考えておきましょう。

○継続的な訓練の実施について

- ・災害時に適切な避難行動を取ることができるようになるためには、繰り返し訓練を行う必要があります。
- ・地域の行事として防災訓練を位置付ける、地域の行事で防災資機材として備えている発電機や投光器を使って資機材取扱い訓練を兼ねるなど、定期的に訓練を実施する体制を整えましょう。